

# ざ・ちゅうおう ぶれす

2017年7月号 第89号

図書館ホームページ（パソコン） <http://libweb.city.setagaya.tokyo.jp/>

（携 帯） <http://libweb.city.setagaya.tokyo.jp/i/>

「ざ・ちゅうおう ぶれす」は、世田谷区のホームページでもご覧いただけます。

発行：世田谷区立中央図書館

世田谷区弦巻3-16-8

TEL 3429-1811

FAX 3429-7436

## 世界のことばを楽しもう！



6月4日（日）に「世界のことばで読み聞かせ」を開催しました。いつものおはなし会と違い、外国語と日本語で絵本を読みます。読み手は「ブッククラブえほんだな！」のみなさんです。

今後の開催日等は、7ページをご覧ください。

『くまんくまんなにみてるの？』（エリック・カールえ／ビル・マーチンぶん／偕成社）を、英語と日本語で交互に読む竹本さんご夫妻。Hanaさんはポーランド出身です。息もピッタリのステキな絵本タイムでした。



タイ語版『ぐるんばのようちえん』（堀内誠一え／西内ミナミさく／福音館書店）を読む桜新町在住のTaさん。タイで子どもたちが親しんでいる絵本も紹介してくださいました。



## 中央図書館カレンダー

| 7月 |    |    |    |    |    |    |
|----|----|----|----|----|----|----|
| 日  | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  |
|    |    |    |    |    |    | 1  |
| 2  | 3  | 4  | 5  | 6  | 7  | 8  |
| 9  | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 |
| 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 |
| 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 |
| 30 | 31 |    |    |    |    |    |

| 8月 |    |    |    |    |    |    |
|----|----|----|----|----|----|----|
| 日  | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  |
|    |    | 1  | 2  | 3  | 4  | 5  |
| 6  | 7  | 8  | 9  | 10 | 11 | 12 |
| 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 |
| 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 |
| 27 | 28 | 29 | 30 | 31 |    |    |

| 9月 |    |    |    |    |    |    |
|----|----|----|----|----|----|----|
| 日  | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  |
|    |    |    |    |    | 1  | 2  |
| 3  | 4  | 5  | 6  | 7  | 8  | 9  |
| 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 |
| 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 |
| 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 |

| 10月 |    |    |    |    |    |    |
|-----|----|----|----|----|----|----|
| 日   | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  |
| 1   | 2  | 3  | 4  | 5  | 6  | 7  |
| 8   | 9  | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 |
| 15  | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 |
| 22  | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 |
| 29  | 30 | 31 |    |    |    |    |

### 開館時間

火～日 10:00～19:00  
月・祝・休日 10:00～17:00

■ は、世田谷区立中央図書館休館日です。

■ は、17時に閉館です。

THE SETAGAYA CENTRAL LIBRARY PRESS

# 世田谷文学館

## 世田谷の活字拠点を訪ねて・6

京王線芦花公園駅から南へ徒歩約5分。千歳通りにかかる木々の緑の先に、ガラス張りのモダンな建物が現れます。

今回は、約半年の改修工事を経て4月にリオープンした世田谷文学館を訪問しました。



世田谷文学館外観

入るとすぐ物販コーナーがあり、「ムットーニ・パラダイス」展(現在は終了)の書籍・グッズが販賣かに並んでいました。展示棚は川場村の木材を使用しているそうです。➡



落ち着きのある物販コーナー

フロアは演奏会が開けるくらい広く、窓際のくつろぎスペースからはせせらぎに泳ぐ鯉が見られます。読書するには最適ですね。➡



窓の外には鯉が泳いでいます

一階では文学館所蔵のコレクション展「ut pictura poesis-詩は絵のように」が開催中。世田谷ゆかりの作家の自筆の原稿、書画や初版本、愛用した文具などが並ぶほか、映画の衣装デザインや小道具なども展示されています。文学館は実は映画資料も豊富に所蔵しており、区内に東宝撮影所等があったことから、関係者から多く寄贈をいただいたそうです。

二階へ向かうと、からくり人形作家武藤政彦氏の作品展「ムットーニ・パラダイス」。それぞれのケースに妖しい光に照らされた人形たちの世界があり、見るものを引き込んでしまいます。(現在は終了、7月からは山をテーマに「山へ！to the mountains」展がはじまります。)

続いて、新設された「ほんとわ」に行ってみましょう。「ほんとわ」の意味ですが、特に正解はなく、「本と和」「本・永久」「本当は」「本とは?」など、多様な解釈の余地と広がりを持たせているそうです。



⬅ 「ほんとわ」入口です。

看板に ” A LITERARY MEETING PLACE ” とあるように、本との出会いの場、本を介して人が集い交流する場を目指しています。



中は開放的  
ながら部屋が  
色分けされて  
いるのがわか  
ります。



「本と輪」  
のひとつ、  
「編集に唸  
る写真集3  
冊」の展示で  
す。

「ほんとわ」の中は2つに分かれ、手前は大人向けの書店のような雰囲気のエリアです。棚には、各方面的専門家がお勧めの本を紹介する「本と輪」の展示がされています。



奥は子どもたちが自由に過ごせるスペースです。棚には絵本や児童文学、紙芝居が揃い、おいしいれみたいな小さな個室(写真中央)や、授乳室もあります。

いらした方が一日くつろいですごせるような館にしたい、とのことでした。

地元イベントへの参加も行なっており、6月には烏山下町まつりと連携して、贈り主のメッセージをつけて子ども本を配布する「本の輪」、川場村の物産コーナーやワークショップの開催、企画展の無料入場などを行なっています。



収蔵庫は金庫のよう



中では次回展示の準備中でした

資料の収蔵庫も見せていただきました。展示にあたっては他から借用する美術品もあり、厳重な管理の下で次回展示の準備が進められていました。

木彫りの仮面やヘラジカの角が置かれていましたが、いったいどんな展示になるのでしょうか？

皆さんも、新しく、美しくなった世田谷文学館で過ごしてみてはいかがでしょうか。（喫茶室ではゴジラが待っています）

公益財団法人せたがや文化財団 世田谷文学館 (<http://www.setabun.or.jp>)

所在地 世田谷区南烏山1-10-10 (電話 03-5374-9111 FAX 03-5374-9120)

アクセス 京王線「芦花公園」駅南口より徒歩5分

小田急線「千歳船橋」駅から京王バス（「千歳烏山駅」行）「芦花恒春園」下車徒歩5分

開館時間 10:00~18:00

休館日 毎週月曜日（祝日の場合は翌平日）、年末年始、臨時休館日

# 「子どもの読書とメディア～スマートフォン社会の落し穴、悪魔は誕生日にやってくる～」

今回は、スマートフォンをはじめとしたソーシャルメディアが、子どもの身体や読書活動にどのような影響を与えていているのかをテーマに3部構成で行いました。※

### 第1部 講演：清川輝基氏（NPO法人「子どもとメディア」代表理事）

ソーシャルメディアが、身体や脳にあたえている影響についての講演でした。LEDライトが発するブルーライトは、目の網膜に直接届くので、黄斑変性症を発症し、失明する恐れがあること、スマートフォンに熱中すると外で遊ぶ時間が少なくなり、足の筋力がよく育たないなど、目だけでなく、脳や足に及ぼす影響もお話しいただきました。



### 第2部 現状報告：伊藤美智子氏（池尻保育園園長）

池尻保育園が行っている行事や園での生活等についての報告でした。保育園には、絵本スペースがあり、子どもたちが自由に絵本を読んだり、定期的におはなし会を開催したりしています。子どもたちにとって、目と目を見て接することが大事であり、そういったことを保育園では大切にしていることを伝えていただきました。

第3部 活発な意見交換がされました

### 第3部 質疑応答等

参加者へのアンケートでは、「子どものみならず自身とスマートフォンとの関係を見直さなければならぬ」と心の底から思った。「子育てに大切なこと、子どもが望むような形で愛するという言葉が心に残った。」などの感想がありました。

※今回のフォーラムの内容については、『第11回世田谷区子ども読書活動推進フォーラムの報告』（書誌番号：005811460）または、図書館ホームページでご覧になれます。

## 平成29年度「子ども読書の日」記念講演会

4月22日(土)開催

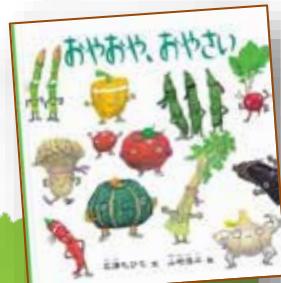
### 山村浩二さんの絵本と動く絵のおはなし

今年度は、世田谷区にお住まいの絵本・アニメーション作家、山村浩二氏を講師にお招きしました。講演会では山村氏制作の短編アニメーション「カロとピヨブプト」「マイブリッジの糸」の上映のほか、「おやおや、おやさい」（福音館書店）「ばれーど」（講談社）など様々な世代の方から愛されている絵本の朗読なども行っていただきました。

普段は目にする機会の少ないラフ画から色付けの過程などもスライドで上映され、参加者からのアンケートでは「絵本を作る作業工程がわかって楽しい。子どもの目線になれそう」という感想がありました。

ご自身の幼少期の体験などもまじえて絵本やアニメーションの制作についてお話しいただき、子どものような大胆で柔軟な発想を大切にされていることが伝わる講演会でした。

（参加者92名）



# 「知的書評合戦 10代のビブリオバトル」

3月18日(土)開催

3月11日(土)の予選会(申込20名)を通過した7名のバトラーが発表!

観戦者61名の投票で見事、チャンプ本に輝いたのは、この2冊!!



＜小・中学生の部＞  
『考証要集-秘伝!  
NHK 時代考証資料-』  
大森洋平著  
(文藝春秋)



＜高校生の部＞  
『縞模様のパジャマの少年』  
ジョン・ボイン作  
千葉茂樹訳  
(岩波書店)



小学生も健闘!  
「ちょっと緊張した~」



表彰式  
「チャンプ本、おめでとう!!」

\*詳細は図書館ホームページをご覧ください。

\*来年3月に開催予定、ぜひ中高生の方は参加して下さい、楽しいですよ!!

イ  
ベ  
ン  
ト  
の  
報  
告  
♪

## ~~中央図書館を支えてくださる皆さん~~

毎年5月に、おはなし会などを開催しているボランティアグループの皆さんと情報交換会を行います。

今年は、「おはなし広場」「しるばさんのおはなし会」「おはなしたまごの会」さんに加え、「朗読の会 言の葉」「ブッククラブ えほんだな!」と新しい2つのグループの参加がありました。

「朗読の会 言の葉」さんは、奇数月の第1金曜日午後2時からの開催。「ブッククラブ えほんだな!」の皆さんには、毎月第1日曜日の午後2時から、“世界のことばで読み聞かせ”を行います。(詳しくは館内のちらしをご覧ください。)

ほかにも、折り紙を教えてくださる方や、目の不自由な方に対面朗読をされる方など、多くのボランティアの方が活躍しています。その熱意に感謝する日々です。



~~いつも笑顔~~

ボランティアグループ代表の皆さん

世田谷の魅力を発信！



## 地元愛にあふれた本棚 地域資料コーナー



『清明亭写真集』(せたがや街並保存再生の会 2017年)

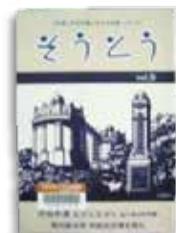
都立深沢高校の敷地内にある「清明亭」の写真集です。

「清明亭」は、現在の「わかもと製薬」の創業者である長尾氏の旧長尾本邸の離れであった歴史的建物です。地域の文化資産として親しまれている「清明亭」の貴重な写真が収録されています。

『そうとうー渋谷水道にまつわる話いろいろーVo.1.9』

(駒沢給水塔風景資産保存会 2016年)

「駒沢給水塔風景資産保存会」の年会誌です。Vo.1.9では、駒沢給水塔を含む渋谷水道のうち「砧下浄水所」界隈をレポートしています。



北沢川文化遺産保存の会が作成した『下北沢文士町文化地図 改訂7版』と『代田のダイダラボッチ』

このほか地域資料コーナーには、世田谷区で採択された小・中学校の教科書、世田谷文学館や世田谷美術館の図録、平成28年度産業表彰（区長特別表彰）を受賞した恵（えい）出版の『世田谷ライフ magazine』などがあり、興味のつきない本棚です。

### 作家名クイズ

現代文学の棚に並んでいる作家です。  
全員読めますか？

朱野帰子 畠中恵 有川浩 萩原浩 歌野晶午 緒川怜 深木章子  
橋玲 法月綸太郎 似鳥鶏 山本一力 明野照葉 三羽省吾 乾緑郎  
万城目学 植松三十里 秦建日子 最果タヒ 西尾維新 伊藤計画  
白石一文 駒星周 冲方丁 岩井三四二 宇江佐真理 東川篤哉  
唄木蓬生 柄刀一 平安寿子 雨宮処凜 日明恩 鳥飼否宇 海堂尊  
典厩五郎 小路幸也 浅暮三文 石田衣良 唯川恵 南木佳士  
乙一 久世光彦 木谷恭介

答え：あけのかえるこ はたけなかめぐみ ありかわひろ おぎわらひろし うたのしょうご  
おがわさとし みきあきこ たちばなあきら のりづきりんたろう にたどりけい やまもとも  
いちりき あけのてるは みつばしようご いぬいろくろう まきめまなぶ うえまつみどり  
はたたけひこ さいはてたひ にしおいしん いとうけいかく しらいしかずふみ はせせいし  
ゅう うぶかたとう いわいみよじ うえざまり ひがしがわとくや ははきぎほうせい  
つかとうはじめ たいらあずこ あまみやかりん たちもりめぐみ とりかいひう かいどうた  
ける てんきゅうごろう しょうじゆきや あさぐれみつふみ いしだいら ゆいかわけい  
なぎけいし おついち くせてるひこ こたにきょうすけ



# 新着図書案内



## 『子どものアトリエ

-絵本づくりを支えたもの-

西巻茅子 著（こぐま社）

50年に渡り、絵本を描き続けてきた西巻茅子さんのエッセイ集です。大学卒業後開いた「子どものアトリエ」で見た子どもたちの表現力や感受性は、今も西巻さんの心を支えています。

自身の幼い頃にも触れている本書からは、大人が失ってしまった、無垢な子どものコミュニケーション力の素晴らしさが伝わってきます。「楽しみながら」「何か好きなことをひとつ」など、子どもの心を育て、私たちを支える大切な力となる言葉が書かれています。子育て中の方にも、気軽に読んでほしい一冊です。代表作は『わたしのワンピース』（こぐま社）『はけたよはけたよ』（偕成社）等。

【請求記号 児童研究書 J7265に】



## 『世界でいちばん旅が好きな会社が

つくったひとり旅完全ガイド』

TABIPPO著  
(いろは出版)



海外へのひとり旅を夢見る人のためにつくられた本です。ひとりで海外は不安、わからないことが多いくて実現できていない、そんな人が知りたいことを52個のQ&A形式で紹介しています。「何から準備すればいいですか?」「安くておいしいごはんにありつく方法って?」等々、シンプルでわかりやすい内容ですが、一つ一つ詳しい解説があり、役立つ情報が満載です。

世界各地の写真も多く掲載されており、読んでいるだけで旅がしたくなる一冊です。

【請求記号 2090せ】

## 『タマネギとニンニクの歴史』

マーサ・ジェイ著

服部千佳子訳（原書房）

『「食」の図書館』シリーズの1冊です。このシリーズは、身近な食材についての歴史やエピソードを豊富な図版や写真で紹介しています。

タマネギとニンニクはネギのなかまで、ラテン語名で「アリウム属」として分類されています。

食材のほか医療、魔術など意外な側面で人間との関わりを、古代文明までさかのぼり現代までの様々なエピソードを洋の東西を問わず紹介しています。たとえば、吸血鬼を撃退するニンニクのエピソードや、日本ではニンニクは古代から文献にあらわれるが、タマネギは明治以降に日本に入ってきたことなどです。巻末には、レシピ集や用語解説が付いています。

【請求記号 6265し】



## 『白砂糖なし、乳製品なし、卵なし

甘酒で作る麹のおいしい

おかず&スイーツ』

小紺有花著（河出書房新社）



いよいよ夏真っ盛りです。

皆さんは夏バテ対策をどうされているでしょうか。江戸時代には、夏バテ対策に庶民は甘酒を飲んでいたそうです。

麹で作る甘酒には、低カロリーのうえ、必須アミノ酸のほか、新陳代謝を促すビタミンB群も多数含まれることや、腸内の善玉菌の栄養となって乳酸菌やビヒズス菌を増加させることから、最近では「飲む点滴」として注目が集まっています。ただ、中には甘酒の匂いがちょっと、という方もいらっしゃるかと思います。本書では、スムージーやお菓子のほか、様々なおかずへの応用を取り上げていますので、ぜひお試しいただき、甘酒を利用した健康食で夏を乗り切ってください。

【請求記号 5960こ】

# 図書館からのお知らせ♪



## 「ブッククラブ えほんだな！」による 世界のことばで読み聞かせ

6月から毎月第1日曜日に、いろいろな国のことばで絵本を読むおはなし会が始まりました。

日時：7月2日（日）

8月6日（日）

午後2時～3時

対象：どなたでも

定員：30名

会場：中央図書館 おはなしのへや

\*図書館で配布中のちらしをご覧ください。



絶賛受付中！

## 中高生向け講演会

### 「賢治の祈りー

#### 銀河鉄道の夜から幕が上がるへー」

映画「幕が上がる」や宮沢賢治について、中高生の皆さんに向けたおはなしです！

講師：平田オリザ氏（劇作家・演出家）

日時：7月9日（日）午後2時～3時30分

会場：教育センター3階（中央図書館）

申込方法：電子申請、FAX等

\*詳細は図書館で配布中のちらしや図書館ホームページをご覧ください。

## 落語と読書

落語家の入船亭扇治さんをお招きして、落語の独演会を行います。

日時：9月18日（月・祝）午後2時～3時30分

会場：教育センター3階（中央図書館）

申込方法：9月1日（金）から、電話またはFAXで「せたがやコール」へ。（氏名（ふりがな）・住所・電話番号を明記）先着120名。

せたがやコール 電 話：5432-3333

FAX：5432-3100

## 学校おはなし会ボランティア養成講座（初級）

学校でおはなし会ボランティアをしている方・これから始める方を対象にした講座です。

日時：10月～12月のうち6日間

いずれも午前中

会場：教育センターと区内にある5会場

\*申込方法など詳細は、「区のおしらせ9月1日号」やちらし（8月配布予定）をご覧ください。



## 障害者サービスより音訳ボランティア養成講座のご報告

世田谷区立図書館では、2年前の音訳ボランティア養成講座初級に続き昨年度は中級講座を開講しました。

中級レベルということもあり、図の処理（本の中にある図について、視覚障害の方がわかるよう音訳する）など難しい音訳技術についても解説がありました。

今年度は同じく中級者を対象とした対面朗読サービスのための内容の講座を予定しています。

募集については「区のおしらせ せたがや7月15日号・9月15日号」へ掲載予定です。

## 編集後記

間もなく夏休みが始まります。みなさん今年の夏のご予定は決まっていますでしょうか。

海や山、テーマパークへの観光などお子さんたちは楽しみにされていることでしょう。

ところで、夏休み中の課題は先に済ます方ですか？ おしりに火がつかないと…というパターンでしょうか？

そのようなときは、調べもの学習の強い味方—図書館をご活用ください。

なお、テーマが集中する本は早めの予約をおすすめします。また、資料数には限りがありますので、調べ終わったらほかの方へ回してあげられるよう早めのご返却をお願いいたします。